

(ア) 「みんなで作る笑顔のコミュニティ」ゼミ 生徒： 31 名

概要：

防災・まちづくり・福祉・医療・経済・教育などの視点から現代社会の課題や現状を把握し、よりよいコミュニティを作るために高校生の自分達に何ができるのかを探究した。

ファミリー（チーム）での取り組み

テーマ：動物虐待を防ぐ

取り組み：

虐待の事件数や原因について調べ、周囲の人やペットを飼っている人ができる対策についてグループ内で議論した。

テーマ：世界の教育を受けられない子ども達のために自分達にできること

取り組み：

なぜ教育を受けられない子ども達が世界に多くいるのかを調べ、その現状について様々な言語を用いてSNSへの投稿、ポスターの作成、募金の呼びかけなど、問題を多くの人に知ってもらうための活動を実施した。

テーマ：ラオスの教育を受けられない子ども達のために自分達にできること

取り組み：

ラオスの留学生とともに、ラオスの現状を調べた。教育を受けられない子ども達が多くいること知ってもらうために、チラシを作成した。また、そのチラシには子ども達にラオスに生息する動物たちなどを知ってもらい、興味を持ってもらうため塗り絵をつけた。

テーマ：ペットボトルやプルタブの回収率を上げる

取り組み：

ペットボトルやプルタブがワクチンや車いすなどに生まれ変わることを知り、学校でのペットボトル回収率を上げるために、自分達にできることを議論した。

テーマ：食品ロスを防ぐ

取り組み：

購買の売れ残りやお弁当の食べ残しの現状や原因をアンケートやインタビューを通して調べ、食品ロスを防ぐために、自分達ができることについてグループ内で議論を重ねた。

テーマ：快適な学校作り

取り組み：

快適な学校をつくることを目的とし、学学校の校則などについて調べた。生徒がどのような学校で過ごしたいのかを知るために目安箱のようなものを設置することを提案した。

テーマ：交通事故を防ぐ

取り組み：

交通事故を防ぐため、自転車と歩行者の視点に立ち、交通マナーの改善に取り組んだ。保育園や警察署を訪問し、正しい交通マナーを広げるための啓発動画を作成した。

テーマ：過労死を防ぐ

取り組み：

過労死に着目し、長時間労働や残業の問題について探究を進めた。労働者のストレス緩和のため、自分達ができる労働者への接し方や行動についてグループ内で議論を重ねた。

テーマ：いじめの防止

取り組み：

いじめを防止し、被害者側の気持ちに寄り添うことを目的とし、アンケートの実施やスクールカウンセラーへのインタビューを行い、新聞を作成した。

テーマ：ハザードマップの作成

取り組み：

地震などの災害が発生した際、住み慣れない観光地からの避難がスムーズにできないのではないかという点に着目し、子どもから高齢者まで多くの方がすぐに避難場所がわかり、行動できるような、ハザードマップの作成に取り組んだ。

生徒・教員の変容

グローバル探究の授業を通して、他者と積極的にコミュニケーションをとる生徒が多くなり、その際、相手の考えを尊重しながら、自分の意見を伝えようとする姿が見られた。また、世界で何が起きているのか、自分達には何ができるのかを考える時間が増えた。

概要：さまざまないのちがともに生きる世界、そのバランスが崩れ、今、共存することが難しくなっている。すべてのいのちが輝き、それぞれの力を発揮できる世界を実現するために、私たちはどう生きるべきなのか。私たちヒトを含む多くのいのちがバランスを保ち、共に暮らせる社会を作るためのヒントを探る。

ファミリー（チーム）での取り組み

テーマ：マイクロプラスチックから海洋生物を守る

取り組み：毎日の洗濯物から出るマイクロファイバーに着目した。マイクロプラスチックよりも小さいが、毎日洗濯を重ねるとその量は海の汚染につながる。マイクロファイバーの流出を食い止めるための方法を考えた。一般的にホームセンター等で売られている洗濯ネットと、環境に配慮した網目の細かい洗濯ネットを用いて、洗濯後の水を同じ条件で濾過し、マイクロファイバーの流出量を測定した。

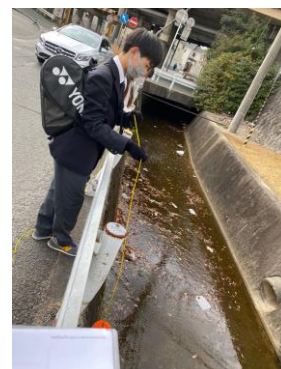


テーマ：奈良公園のシカをゴミから救え！

取り組み：奈良公園に落ちているゴミがシカのいのちを脅かしている問題の解決方法を考えた。どのような場所にゴミが落ちているかを調査した。結果、ヒトがゴミを捨てるのは、ひと目につかない場所が多いことがわかった。人の心理に呼びかけるポスターを作成し、掲示することでゴミを捨てる人は減るのではないかと仮説を立てた。

テーマ：海洋生物を守るために

取り組み：海洋生物を守るために海をきれいにしたい。その目標に向け、身近な川に着目した。家庭用排水が川の汚染にどれだけ関わっているかを調べるため、秋篠川源流域数キロの範囲において、水を採取、パックテストを実施し、比較した。



テーマ：レッサーパンダの絶滅危機の原因を探る

取り組み：多くの野生動物が絶滅の危機に陥る現状にあり、その中のレッサーパンダに着目した。文献を読むなど、レッサーパンダの生態や特徴、彼らの置かれている現状について調べた。冬休みには天王寺動物園を訪問し、レッサーパンダの行動を観察したり、担当

の方からレッサーパンダの野生下における現状と保護についてお話を伺ったりして、それをまとめた。



テーマ：奈良公園からゴミをなくすには

取り組み：奈良公園のシカがゴミを食べて死亡する事故があり、ゴミ拾いのボランティア活動に参加した。実際にゴミがたくさん落ちていたことから、その種類と捨てられる場所を調査するため、奈良公園へ足を運び、データ収集した。



テーマ：猫の殺処分をゼロに

取り組み：捨てられたり、野良猫になってしまったりした猫がこれ以上殺処分されない方法を探った。「さくらねこ」の取り組みについて調べ、まとめた。ポスターを作成し、現状や「さくらねこ」の取り組みについて多くの人に知ってもらうための取り組みとした。

テーマ：犬・猫の殺処分をゼロに

取り組み：ペットの犬や猫が捨てられ、処分されている現状を改善したいと考えた。飼えなくなったり、捨てられた犬や猫がどのように保護され、譲渡されているか、保護施設を訪問し、インタビューしたり、ボランティアに参加したりした。訪問してわかった内容をまとめた。

テーマ：保護犬や保護猫の殺処分を減らすためにできること

取り組み：保護施設を訪問し、ボランティア活動に参加した。保護施設の取り組みや、現状などを伝えるためのポスターを作成した

生徒・教員の変容

生徒たちは、インターネット検索だけでなく、実際に行動に移すことが必要なことがわかった。どのような問題があるのか、本当にそれは問題なのかを確かめること、また、その問題を解決するためには自分たちに何ができるかを確かめるために何ができるのか、など、行動に移してみようと自ら一歩進めることができた。教員は答えを与えるのではなく、問いかけ続けること、共に悩み、考えること、時には忍耐強く待つ姿勢を意識することができたように感じる。

概要：気候変動・地球温暖化・エネルギーなどの視点から、現状の問題点について話し合い、今ある地球を未来につなぐために何ができるかを探究した。

ファミリー（チーム）での取り組み

テーマ：ランナーリサイクルとエコプラについて

取り組み：プラスチックをリサイクルして再びプラモデルにするエコプラに着目し、プラスチックのリサイクル量を増やすための方法を探究した。プラモデルについてくるランナーが1キットにつきどれだけあるかの実験を行った。



ランナーにはどれくらいのプラスチックが使われているのか



使用したプラモデル
HG 1/144 ザクII(revive)
2021年発売
実験としてランナーの重さを測ってみました。
ガンブラを作る前と後で計測してあります。

結果
作る前 196グラム 作った後 124グラム

テーマ：水質汚染

取り組み：世界で深刻な問題となっているバングラデシュの水質汚染について学びを深め、水質汚染に被害を受けている生き物について調べたり、国際NGOであるウォーターエイドに質問したりした。また、実際に使われている浄化装置の仕組みをもとに、ペットボトルで浄化装置を自ら作製した。

浄化装置作り

- 材料
- ペットボトル2本（同じサイズのもの）
 - 小石（きれいに洗ったもの）
 - 木炭（活性炭、またはバーベキュー用の炭など）
 - カット綿
 - カッター、またはハサミ



水道水

浄化した水

泥水

はじめの一滴が落ちるまでの時間
40秒

この量までたまるのにかった時間
10分

テーマ：生分解性プラスチック

取り組み：環境にやさしい生分解性プラスチックに着目し、バイオマスプラスチックとの違いやメリットデメリットについて調べた。冬休みには生分解性プラスチックを実際に作る実験を行った。

テーマ：気候変動と海面上昇について

取り組み：気候変動・海面上昇が起こる原因と、気候変動がもたらす影響について調べ、私たちにできる対策についてファミリーで議論を重ねた。

テーマ：服のリサイクル

取り組み：服の大量廃棄がもたらす環境への影響についてファミリーで調べていく中で、GUやH&Mなどの企業が取り組んでいる服の再利用について探究を進めた。自らも、衣類のリメイクを行った。



テーマ：地熱発電

取り組み：持続可能なエネルギーである地熱発電について調べ、日本の発電量の少なさから、その原因についてファミリーで議論を重ねた。

テーマ：プラスチック削減について

取り組み：プラスチック製品の代わりに紙ストローや紙袋を採用している企業に実際に出向き、プラスチック削減のための企業の取り組みについて調べた。

テーマ：再生可能エネルギー

取り組み：再生可能エネルギーを利用する上での課題をファミリーで議論し、再生可能エネルギーによる発電と従来の発電を比較し、どちらのメリットが多いかを多様な視点から考えた。

生徒・教員の変容

グローバル探究のゼミ活動を通して、世界で起きている環境問題を自分事として捉え、高校生として何が出来るかを考えることができた。奈良ストップ温暖化の会の方の講演を聴いたり、自ら企業や温泉地に出向いて調査したり、自宅実験をする生徒もいた。この探究活動をこれで終わりにするのではなく、今後も引き続き続けていきたいという意欲が感じられた。